

官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

報告事項

- (1) ポップカルチャーを活用したまちづくりについては、札幌市としての優位性を生かすことができるマンガを核として取り組む。
- (2) 札幌独自の在り方を検証するために、官民連携で取組を進める。
- (3) 推進体制として、（仮称）一般社団法人札幌マンガ・図書等活用まちづくり機構を民間企業と共に立ち上げる。

官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

マンガ等ポップカルチャーを活用したまちづくりに関するこれまでの検討経過 (1)

- 2021年11月、札幌・北海道にゆかりのあるマンガ家有志による「北海道マンガミュージアム構想」からのマンガミュージアム建設に関する要望及びその協力の申し出を受けた事を端緒として検討を開始。
- 2022年度に「図書（マンガ）を核としたライブラリー、ミュージアム及びビジネスの展開に関する可能性調査」実施。
- アクションプラン2023に、「文化芸術活動に広がりを持たせるとともに、マンガ等のポップカルチャーを活用した新たなまちづくりの可能性を検討することを位置づけた。

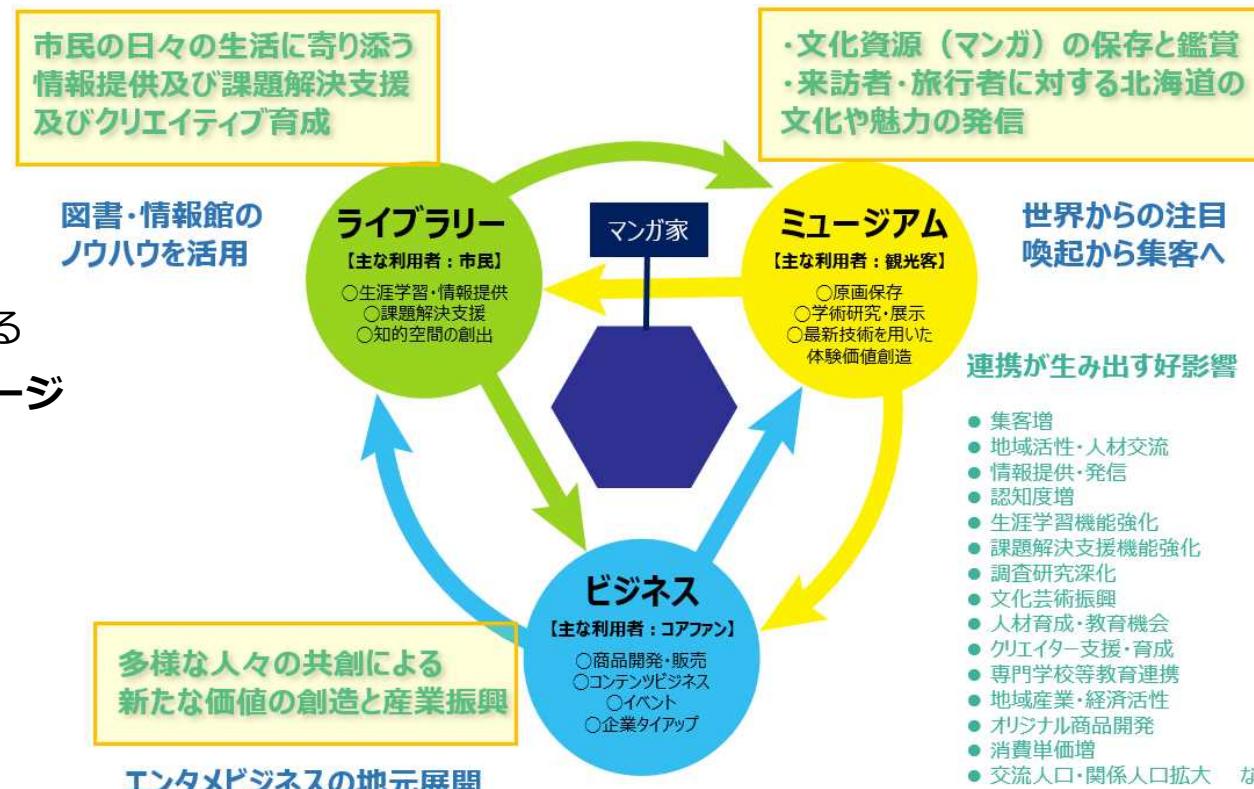
2022年度の可能性調査（概要）

可能性

- ▶多くのマンガ家を輩出している札幌・北海道でのライブラリー、ミュージアム、ビジネスの三機能を連環させた取組には、新たな都市の魅力となる**市民の愛着**を生み出す可能性
- ▶マンガコンテンツを用いた新たな文化芸術創造は、豊かな市民生活の一助となり**新たな街の魅力**となる
- ▶マンガ家からの協力の申し出は**大きなアドバンテージ**

課題

- ▶ マンガに興味がない市民を含め、マンガの魅力と価値を知ってもらい、**機運醸成を図ることが必要**
- ▶ 専門的な技術や知見、資金等において、**官民連携体制の構築**が必要
- ▶ クリエイターやその周辺**人材の育成・支援**が必要



官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

マンガ等ポップカルチャーを活用したまちづくりに関するこれまでの検討経過 (2)

2023・2024年度 調査研究事業

- 2022年度の可能性調査の結果を受け、2023・2024年度には調査分析及び機運醸成を目的とした企画展を開催

2023年度

内容	会場	会期	入場者数	備考
『あさきゆめみし』 × 『日出處の天子』展	東1丁目劇場	2024.3.9～3.24	8,029人	
白い妖怪ぱーく展	白い恋人パーク	2024.2.3～2.14	1,859人	
北海道とマンガのミライ	中央図書館	2023.10.12～12.12	6,500人	教育委員会主催
SAPPORO MANGA FOREST (フォーラムも開催)	図書・情報館	2024.2.29～3.26	—	教育委員会主催



分析結果（抜粋）

■ 展覧会開催による経済波及効果

- ・『あさきゆめみし』 × 『日出處の天子』展：約2億4,000万円
- ・白い妖怪ぱーく展：約1億円

■ 今後取り組んでいくべき施策

- ・関連人材の育成・発掘として、教育の場や接する機会を提供
- ・関連企業の進出・集積と関連人材の育成・発掘、地元就職・定着の好循環が生まれる仕組み
- ・ポップカルチャーの活用による経済効果を市民が享受・実感・理解し、市民がポップカルチャーのまちとして誇りや愛着を感じるような取組

2024年度

ライブラリー・ミュージアム・ビジネスの三機能が有機的に連動することを想定したプロトタイプ施設運用
【10月12日～】



官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

札幌がもつアドバンテージ（マンガ家の協力）（1）



「北海道ゆかりのマンガ家」とは「生まれ」「出身」「在住」のほか、幼少期や学生時代など過去に北海道にお住まいだった方など広く捉えています。また、マンガ家名は敬称略、五十音順に表記しています。
作成者：札幌市まちづくり政策局政策企画部プロジェクト担当 協力：表智之／北九州市漫画ミュージアム、ムーンライティング 作成日：2024年9月

あきの香奈	緒原博純	笹原ひろみ（卓美涼）	土屋徳子
秋本奈穂子	小原ヨシツグ	佐山玲子	津村かおり
あきよし菜魚	香川祐美	しがの爽織	テクノサマタ
あくたれい	加賀谷浦一	鷺有紀子	東条さかな
旭丘光志	かきざき和美	しばたひろこ	常磐易成
朝比奈ゆうや	鈴木八郎	シビラ童也	富塚真弓
麻見雅	カスカベアキラ	清水奈馬	友成孝治
あづち涼	片岡吉乃	清水克代	友藤結
あづま笙子	桂明日香	清水祐幸	仲尾佳
虹川裕美	叶恭弘	しもん頼之	中川学
あべさより	香村陽子	終焉	長沢克泰
あや秀夫	修平	寿賀無（斎藤浩美）	中村黛九
綾峰けう	鶴鍋かもつ	しらかわきくの	三浦実子
坂坂友佳子	河島北京	白銀假	ミカミイズミ
飯塚修子	川本豊裕	銀雪子	美川べるの
五十嵐正邦	神田森莉	菅野ナミ	中川学
井崎一夫	石倉純一	菅原雅	長沢夢吉
（香川博士）	日本美穂	菅原博之（香川博士）	三倉佳境（三倉海）
（兵庫県出身）	イタガキノボ	杉基イクラ	三倉ちかげ
（福岡県出身）	坂本こうこ	鈴木雅子	みさと美夕稀
（鹿児島県出身）	伊東岳彦	北野弘務	水月博士
（岐阜県出身）	伊藤誠	北野生	渕谷夢吉
（福岡県出身）	稻光伸二	北星晃平	南ひろゆき
（福岡県出身）	犬木加奈子	北村豊	南文夏
（兵庫県出身）	イラ姫	北星ともみ	美濃みずほ
（兵庫県出身）	岩泉舞	砂原ともみ（達坂八代）	宮道樹
（兵庫県出身）	いわおかめめ	砂原かすみ	新岡寅
（兵庫県出身）	岩尾奈美恵	すみかさき	新名昭彦
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	北森一	にぎりこぶし
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	北森サイ	にしの公平（木なさくや）
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	北山茂樹	ナフタレン水鳩
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	北山奄	なるめ
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	北山竜	新岡熱
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	北山竜星（太郎）	三好哲樹
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	高木なつみ	御米惟
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	高木奈次	無一文
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	濱岡則子	向中野義雄
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	村上真紀
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	むらさき朱
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	mebae
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	森曾猛
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	森田崇
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	森次矢尋
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	森永チヨ
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	森山重
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	森山幸子
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	安田タツ夫
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	やまさき美子
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	山科怜子
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	山田和重
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	山田ユギ
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	山花典之
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	ヤマモトナマブ
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	山本夜羽音
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	夕顔ありす
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	余湖輝
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	横山えいじ
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	横山文代
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	横山裕二
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	横山裕一
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	吉田めぐみ
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	吉野マリ
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	夜田あかり
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	るら坊
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	ルーツ
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	若狭たけし
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	渡辺獣人
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	和戸村
（兵庫県出身）	（さくらんぼ）	（さくらんぼ）	わらいくなく

北海道ゆかりのマンガ家マップに掲載しきれなかった方々

計284名

官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

札幌がもつアドバンテージ（マンガ家の協力）（2）

北海道マンガミュージアム構想

発起人（18名）



賛同者（14名）



札幌・北海道は多くのマンガ家を輩出しており、
その有志の方々から**協力の申し出**を頂いていることは、
取組を進めるうえでの**大きなアドバンテージ**



多様なポップカルチャーの中でも
札幌市としての優位性が認められる
「マンガ」を核として取組を推進

官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

官民連携での札幌ならではの取組の検討

■ 2022年度の可能性調査では…

- 専門的な技術や知見、資金等において、官民連携体制の構築が必要
- ライブラリーや魅力発信に係る公共機能は行政、収益・集客機能は民間として役割分担
- ライブラリー、ミュージアム、ビジネスの各機能の可能性を行政のみで追求することの限界

官民連携による
三機能を連携さ
せた取組の推進

2024年度

▼ 産学官連携によるマンガ・アニメ等のポップカルチャーを活用したまちづくりに関する意見交換会の立ち上げ

- 2024年6月スタート。マンガやアニメ等に関心が高い道内外の企業や大学等18社（団体）が参加
- 主な意見は以下のとおり。

- ▶ 今後5年間をトライアル期間とし、マンガを核とした三機能の循環を視野に官民連携で取組を推進すべき
- ▶ 産学官が連携した推進体制が必要
- ▶ KPIの共有が必要（継続性の仕掛け、5年間のターゲットのプライオリティ）
- ▶ 多方向からの視点の必要性

- | | | |
|----------------|----------------|------------------------------------|
| ・ 札幌のブランディング向上 | ・ 札幌のブランディング向上 | ・ マンガ・アニメの街として認知 |
| ・ 経済活性化 | ・ 経済活性化 | ・ 季節に関係なく集客できる仕組みの構築 |
| ・ 教育と人材育成 | ・ 教育と人材育成 | ・ 官民連携で <u>マンガ家やその周辺人材を育成する仕組み</u> |
| ・ 住民理解 | ・ 住民理解 | ・ 市民が主体的に参加し楽しめるイベントを通じ、観光客へも波及 |
| ・ 國際競争力の強化 | ・ 國際競争力の強化 | ・ 他国に負けない札幌らしいコンテンツの創出 |

官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

マンガ等を活用した札幌モデルと札幌市にもたらされる効果

持続可能かつ自走する官民連携による札幌モデル

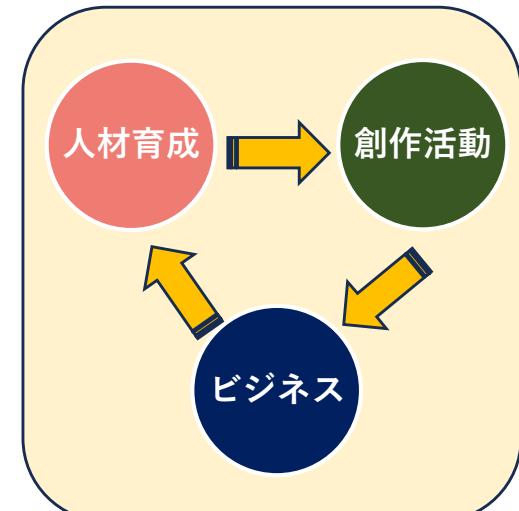
- 事業収益を確保し、自走できる在り方
- 市内の創作活動を担うクリエイターの育成・支援
- 地域(札幌)から創出したマンガ等による魅力の発信

マンガ等の力で地域を活性化

札幌市にもたらされる効果

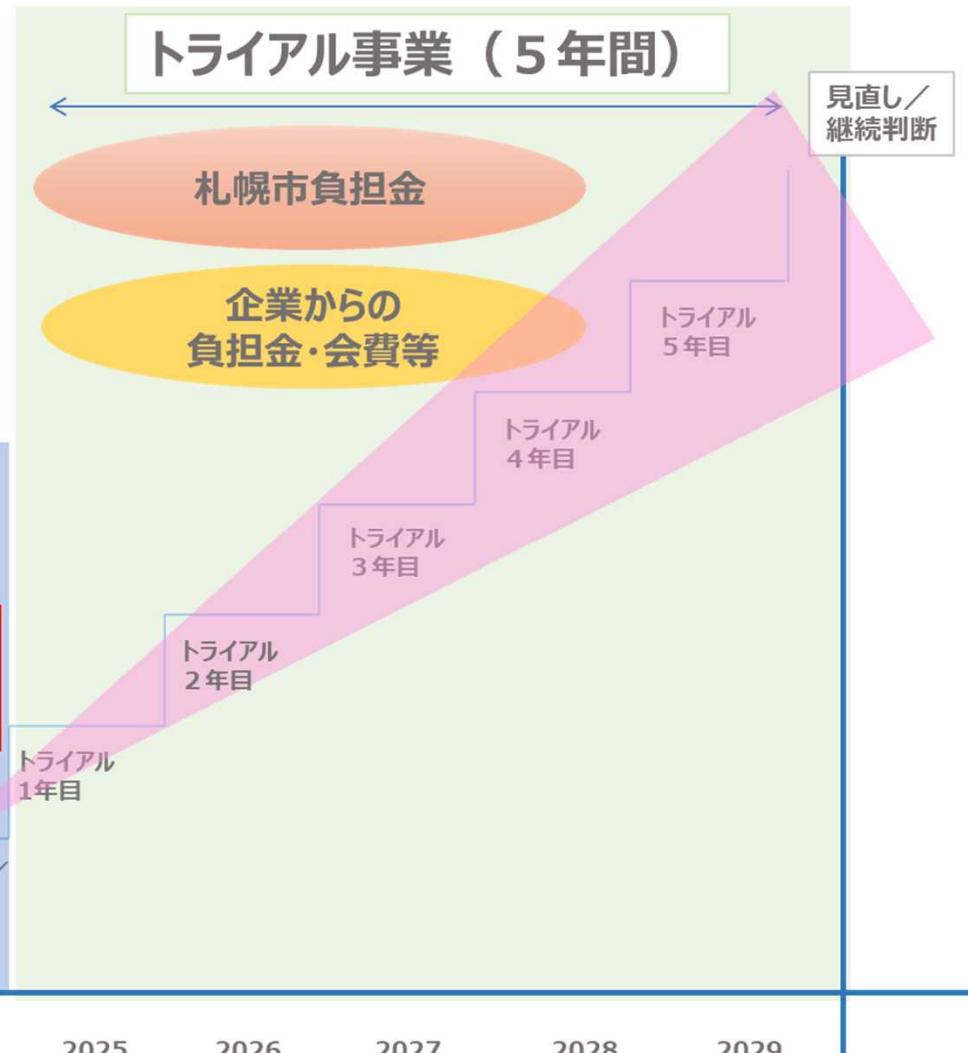
- ①官民連携によりマンガ家やクリエイター等の人材育成
- ②創作活動をサポートし、コンテンツが創出
- ③コンテンツを活用し、収益を獲得
- ④生まれた収益を人材育成に再投資

札幌市の魅力創出・発信、文化振興、教育、観光、産業振興に寄与



官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

5年間のトライアル事業（企業からの提案）



キーワード

- ① 人材育成
- ② 機運醸成
- ③ 事業持続性

企業からの提案事業

■市の負担金及び民間の会費等で実施

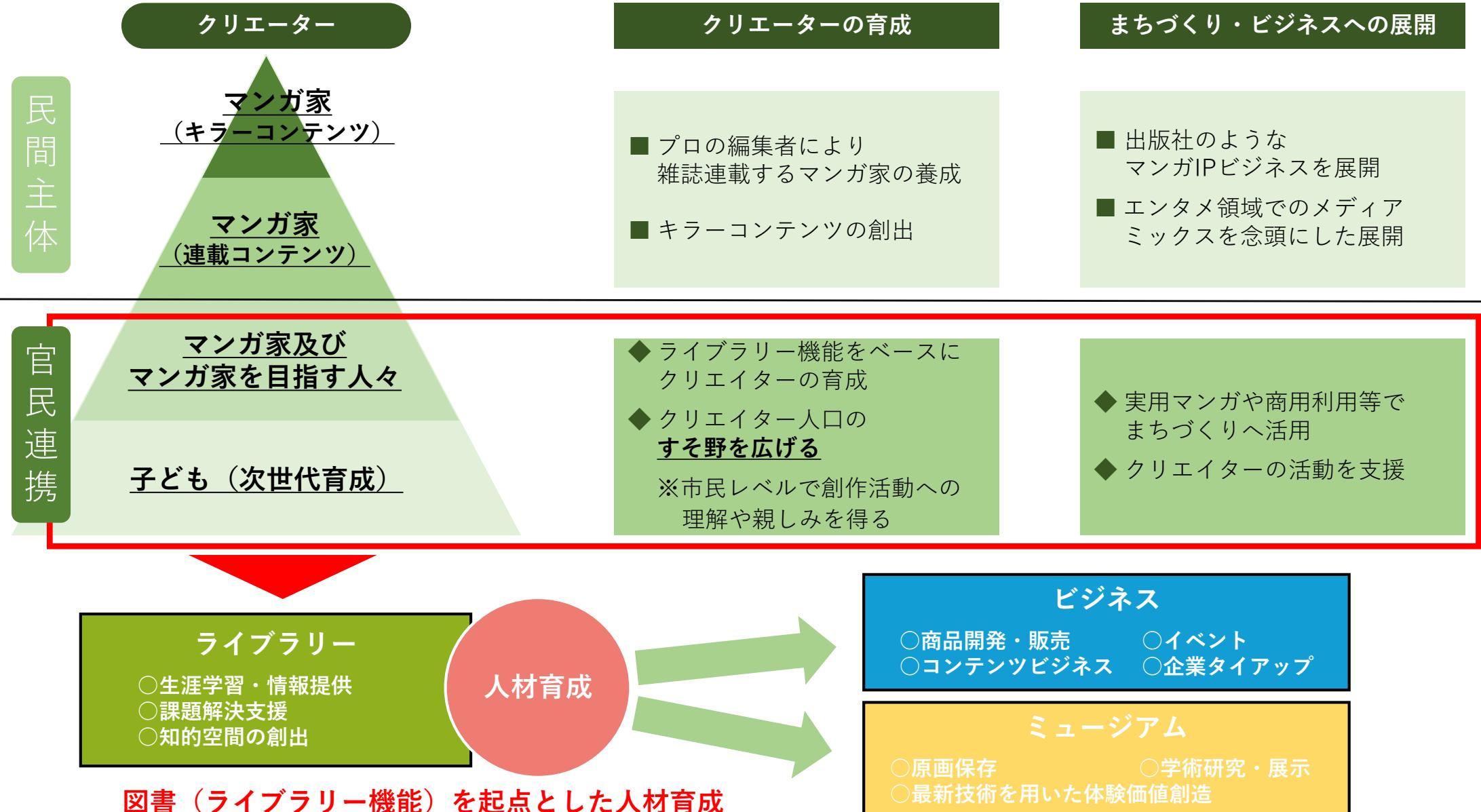
- ▶ テーマ型マンガライブラリーの実証実験
- ▶ 創作活動を想起させる企画展
- ▶ 札幌・北海道ゆかりのマンガにより魅力を発信する展示の開催
- ▶ IP活用によるクリエイター育成のためのカリキュラム/教材コンテンツの開発
- ▶ 創作活動を体験するワークショップの開催

◆民間の会費等のみで実施

- ▶ 地元企業とコンテンツのコラボや二次創作による高付加価値製品の開発・販売の実証実験
- ▶ キラーコンテンツ起用による企画展等の大規模イベント開催

官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

官民連携で進める人材育成（企業からの提案）



官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりのロードマップ（5年間）

	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
テーマ型マンガライブラリーの実証実験		実証実験（テーマ・配架内容を一定期間ごとに変更）			
創作活動を想起させる企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展
札幌・北海道ゆかりのマンガにより魅力を発信する展示	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展
創作活動を体験するワークショップ	教材コンテンツの開発		教材の改良	教材の改良	教材の改良
		創作活動を体験するワークショップの実施（継続的に実施）			
高付加価値製品の開発・販売の実証実験	開発5種	開発5種	開発5種		
			販売		
キラーコンテンツ起用による企画展	準備期間	企画展	準備期間	企画展	

官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

札幌モデルを実践するための手法

札幌モデルを実現するためには・・・

■ 創出した札幌ならではのコンテンツを管理・活用

- ▶ 商標登録を取得するためには法人格が必要
- ▶ 任意団体での所有財産は個人に帰属

■ 民間企業の積極的な参画

- ▶ 民間企業等が持つノウハウを最大限に活用
- ▶ 意見交換会では法人格がなければ人的・資金的に積極的な参画が難しいとの意見が多数

■ 社会的信用の向上



「札幌モデル」の推進体制として、法人格を持つ一般社団法人を設立

官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

一般社団法人の会費等

■会員種別

- ▶ 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人又は団体、法人、公共団体（社員総会での議決権あり）
- ▶ 賛助会員 この法人の事業に賛助するため入会した団体、法人、公共団体
- ▶ 特別会員 理事会において推薦を受けて入会した個人、法人、団体、教育機関または行政機関

■入会金・年会費

会員種別	入会金	年会費	議決権
正会員（法人）	30万円	5万円/口	●
正会員（個人）	5万円	5万円/口	●
賛助会員	無料	5万円/口	×
特別会員	無料	無料	×

●札幌市は正会員（法人）として参画
(入会金：30万円、年会費5万円)

●札幌市は公益性に寄与することが見込まれる事業への負担金を拠出

官民連携によるマンガ等を活用したまちづくりの推進について

一般社団法人における事業費負担割合の考え方

1年目	一社会費	札幌市 負担金	企業 負担金	事業収入
2年目	一社会費	札幌市 負担金	企業 負担金	事業収入
3年目	一社会費	札幌市 負担金	企業 負担金	事業収入
4年目	一社会費	札幌市 負担金	企業 負担金	事業収入
5年目	一社会費	札幌市 負担金	企業 負担金	事業収入
事業成立				
6年目	一社会費	企業 負担金		事業収入

- ▶ 事業収入の増加に応じて札幌市の負担金を低減（6年目以降は事業への負担金支出は無し）
- ▶ 事業収益は人材育成等の公益性が高い事業へ還元